

高く・強く・楽しく

柏崎体育



(一財)柏崎市スポーツ協会広報誌

2026年1月16日発行

編集●(一財)柏崎市スポーツ協会広報誌

印刷●柏崎インサツ

柏崎スポーツフェスティバル2025~小学生スポーツ体験会~

9月27日（土）に柏崎スポーツフェスティバル2025を開催しました。15種目に約200名（のべ420名）の小学生が参加しました。子ども達がスポーツの楽しさを味わい、好きなスポーツを見つけ、スポーツに親しむきっかけづくりになることが目的です。自分が選んだスポーツに熱心に取り組む子ども達の姿がたくさん見られました。今年も特別協賛の(株)ブルボン様から参加賞のお菓子と飲料水をご提供いただきました。



全国の舞台で躍動するアスリートたち



「最高の夏」【競泳】

柏崎市立第二中学校 歌代 咲彩

今年の夏、私は全中、JOCジュニアオリンピック、国民スポーツ大会の3つの全国大会で優勝することを目指していました。夏休み中は厳しい練習や合宿を乗り越えてきたので、自信をもってレースに挑みました。その結果、50m自由形で3大会すべてにおいて優勝することができました。大きな舞台で初めて結果を残すことができ、喜びで胸がいっぱいになりました。ゴールタッチした時の歓声は忘れることができません。これまで努力を続けてきて、本当に良かったと思う瞬間でした。しかしながら、100mや200mでは、3大会とも自分の実力不足を痛感しました。これからは50mだけでなく、100mや200mでも戦えるように練習に励みます。次の目標は2028年のロサンゼルスオリンピック出場です!



「Tリーグプロ契約」【卓球】

新潟産業大学附属高等学校 吉田 蒼

私は今年9月にTリーグの金沢ポートにプロ契約をすることができました。今まで自分が地元新潟で頑張って努力してきたことが報われたので、とても嬉しく感じています。地元に残って大会で思ったような成績が出なく、辛いこともありましたが、家族や監督の支えでここまで来ることができたと思っています。部活動や金沢ポートでの活動の中で今まで以上に努力を重ね、目標である日本一になることや世界で活躍することを達成できるように頑張りたいと思います。今まで支えてもらった家族に様々な形で恩返しできるようにこれからも頑張ります。



「大会を終えて」【競泳】

刈羽村立刈羽中学校 吉田 心咲

私は、国民スポーツ大会の4×100mメドレーで出場し、5位入賞を果たしました。個人としてはまだトップレベルには至りませんが、リレーメンバーと共に全国の決勝に進み、貴重な経験を得ました。大会では、トップ選手たちの泳ぎや闘志を間近で見て、技術や心構えを学びました。この経験を活かし、来年から高校生としてさらに高いレベルで競い合い、上位を目指して努力を続けます。そして、今年度より成長し、チームをより活躍させられる選手を目指して頑張ります。



「今後の目標に向かって」【卓球】

新潟産業大学附属高等学校 山岸 駿

私は今年の8月にインターハイに出場しました。目標は団体戦優勝、ダブルス、シングルス入賞としていました。目標達成に向かって、対策練習やトレーニングに励みました。実際の結果は目標に届かず、悔しい思いをしましたが、そこまで支えてくださった監督やコーチ、部活動の仲間、そして応援やサポートをしてくださった保護者に感謝しています。私は大学でも卓球を続けます。大学での目標は全国大会入賞です。今後も今以上に練習やトレーニングに励み、先輩方のレベルの高いプレーを見ながら、自分自身を磨き上げていきたいと思います。



「インターハイで学んだ感謝の気持ち」【卓球】

新潟産業大学附属高等学校 小林 侑立

私は今年度インターハイに出場しましたが、その道のりは簡単なものではありませんでした。インターハイでは8連覇している愛工大名電と試合をさせていただきましたが、結果はあと一本が取れなくて負けてしまい、チームとしても勝つことができず、「自分が勝っていれば」と思うととても悔しい気持ちでいっぱいです。しかし、同時にチームでひとつになれたという嬉しい気持ちもありました。そう思えたのも、今まで一緒に戦ってきた仲間や顧問の先生、支えてくださった保護者の皆さんのおかげです。その感謝の気持ちを忘れずに今後も卓球を頑張ります。



「必ず日本一を取るために」【水球】

柏崎水泳連盟 野田 一成

昨年に続き、日本選手権で2位という結果に終わりました。優勝まであと一歩届かなかった悔しさを胸に、次こそは必ず日本一をつかみ取るため、日々の練習に全力で取り組みます。個人としてもチームを勝たせるプレーを追求し、さらなる成長を目指します。将来的には海外での活動を実現し、世界で戦えるチームをつくりたいと考えています。柏崎や新潟県の企業の皆様からのご支援を力に変え、地域に誇られるチームを目指します。



「今年度を振り返って」【水球】

柏崎水泳連盟 梅村 香穂

私達女子チームは、日本選手権、国民スポーツ大会に出場しました。2025日本選手権水泳競技大会水球では、数年ぶりの準決勝進出を果たしましたが、私たちの長年の目標であるメダル獲得を果たすことができませんでした。国民スポーツ大会でも惜敗してしまい、目標としていた結果にはあと一歩届きませんでした。全国の舞台での戦いは、目標を掲げ努力をしても超えるのが難しい壁があります。その壁を超えて、目標を達成するために、まずは個人の力をつけるためイタリアのチームに所属して研鑽しているところです。応援してくださるたくさんの方々に早く恩返しできるようがんばります。



「全国の舞台で得たもの」【なぎなた】
柏崎常盤高等学校 関塚 アヅヤ

今年度はインターハイと国民スポーツ大会のなぎなた競技に出場しました。インターハイでは悔しい結果となり、力不足を痛感しましたが、その悔しさを原動力に稽古を重ね、国スポでは演技競技で8位に入賞することができました。気の詰めた稽古を乗り越えて得た喜びは、大きな自信につながりました。来年度は3年生として迎える最後のシーズンです。今年度得た経験と悔しさを力に、悔いの残らない試合ができるよう日々の稽古により一層励み、全国の舞台で堂々と戦える選手を目指して努力を続けていきます。



「国スポを振り返って」【なぎなた】
柏崎常盤高等学校 小堺 海音

9月29日から10月1日に滋賀県で行われた国民スポーツ大会なぎなた競技に出場しました。演技競技では、4月から一緒にペアを組んでいた関塚先輩と出場しました。国スポ前のインターハイでは目標としていた予選突破をできなかったので、悔しい思いをバネに、お互い高め合い、お稽古を積んでいました。その成果を発揮することができ、8位入賞という結果を残すことができました。この結果に満足せず、さらなる高みを目指して日々のお稽古に励み、支えてくださっている方々に感謝を忘れずに過ごしたいと思います。

指導者講習会

今年度の指導者講習会の3回目、4回目を行いました。講習会の詳細については当協会のホームページをご覧ください。

◆テーマ：スポーツ障害予防とトレーニング

講師：高橋 利一（理学療法士・JA新潟厚生連柏崎総合医療センター）

日時：11月21日（金）18:30～20:30 会場：柏崎市総合体育館



◆テーマ：コーチングに活かすスポーツ心理学

講師：中島 郁子（スポーツカウンセラー・臨床心理士）

日時：12月6日（土）13:30～15:30 会場：市役所多目的室



加盟団体のPRコーナー



「各世代の大活躍と地域展開」

柏崎市陸上競技協会 中林 左知男

今年も歴史ある市陸上競技場を中心に小学生のジュニアから中高・大学・社会人・シニアまで、どの世代も活躍し、全国大会に出場するなど大活躍しています。選手をはじめその指導者や陸協関係者の努力の賜だと感謝しています。

来年から中学校の休日の部活動は地域展開になります。市陸協としては「地域クラブ」という形で、柏崎刈羽に住む中学生が「仲間とともに陸上を楽しみ」「記録を伸ばすことができる」よう体制を整え支援していきます。多くの中学生が参加し、将来に渡って陸上を続けてくれることを願い支えていきたいと思います。



「第33回東村山市・柏崎市テニス交流戦開催」

柏崎テニス協会 沖 功

10月25・26日、東村山運動公園で交流戦が行われました。刈羽村生まれの太田芳郎氏が東村山市体育協会会長に就任し、昭和52年から交流戦が続けています。また、東村山市テニス連盟は長年の活動と若者育成が評価され、今年度「東京都スポーツ振興功労者賞」を受賞しました。交流戦だけでなく、その普及活動方法や最新のジュニア指導方法などを参考にし、今後の柏崎テニス協会の運営に生かしていきたいと思います。



「弓道連盟現況」

柏崎弓道連盟 石橋 文雄

弓道連盟のメンバーは一般46名、高校生44名です。木曜日を除く午前、午後を一般、夕方は高校生7時ころから社会人の練習です。目標として昇段昇格、大会での好成績を目指し、的に向かいストレス発散と色々楽しみ方があると思います。第2水曜日に月例会としてミニ大会的な交流会をしています。

年に1度県下弓道柏崎大会、グランドでの大的の遠的大会が行われます。広い所で弓を射るのもなかなか気持ちの良いものです。



「地域に根ざした生涯スポーツ発展に寄与」

柏崎市地区体育協会連絡協議会 西沢 彰

市内には学校区やコミュニティ、町内会等で構成された地区体育協会が29団体（活動休止中の5地区を除く）存在します。住民自らが中心となって、地域性を生かしたスポーツ活動を通じて、地域力向上や地域の盛り上げ役として大切な役割を担っています。これを支える組織体として発足した地区体協連絡協議会は、地域に根ざした生涯スポーツの普及振興に力を注ぎ、本市特有の元朝体操会や市民大運動会の調整役として欠かせない存在です。



「当協会員の活躍について」

柏崎なぎなた協会 小柴 康隆

柏崎なぎなた協会では、現在、柏崎常盤高校なぎなた部の活躍が目覚ましく、北信越高等学校なぎなた競技選手権大会では団体試合競技で3位入賞、国民スポーツ大会で演技競技8位入賞など優秀な成績を収めています。

女子選手の多いイメージの武道ではありますが、柏崎常盤高校なぎなた部では男子選手も入部し、男女共に全国大会上位の入賞を目指し、切磋琢磨しながら、日々、研鑽に励んでいます。



「柏刈はひとつ!」

柏崎刈羽中学校体育連盟 須藤 泰司

柏崎市刈羽郡中学校体育連盟として、新人大会を本年度で最後にする、という決断をしました。長岡市・上越市と同様で、少子化により部活動の数が減る学校が増え、大会として成り立たない種目が出てきたことが大きな要因です。大変残念ではありますが、選手たちの努力の営みが潰えるわけではありません。11月7日新潟県駅伝競走大会では、第三中が2位、第一中が3位と、北信越出場権3枚中2枚が柏刈という偉業を達成したことは、歴史的快挙です。それは、近くにライバルがいて互いに競い合い努力を重ねた成果といえます。子供たちの眼差しを高く向ける。それが指導支援の根本だと、不易なる思いを固くしました。



〒945-0061 新潟県柏崎市栄町18-11柏崎市武道館内

一般財団法人 柏崎市スポーツ協会 広報部

e-mail : info@kashiwazaki-sports.jp

URL <http://www.kashiwazaki-sports.jp>

